

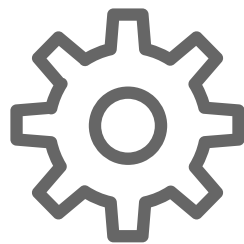
建築・土木業界共通セミナー

Autodesk BIM Collaborate Pro 概要

統合ワークフローで就業時間の価値を上げる！

オートデスク株式会社
技術営業本部 シャフ愉季・日下部達哉

BIM Collaborate Pro セミナー



就業時間の
価値を上げる？



BIM Collaborate Pro セミナー

製品導入時

目的？⇒使用しない
運用？⇒複雑化



BIM Collaborate Pro セミナー

製品導入時

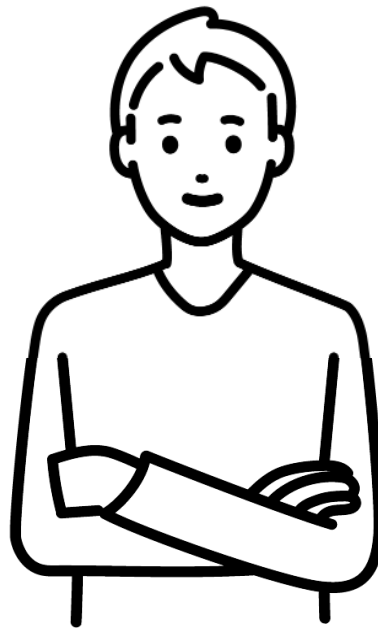
目的・運用も明確



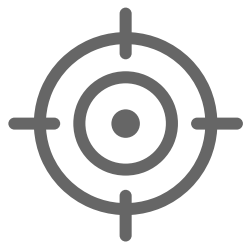
成果例：就業時間の
価値を上げる？



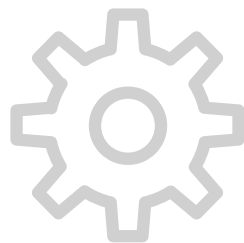
課題例：働き方改革



BIM Collaborate Pro セミナー



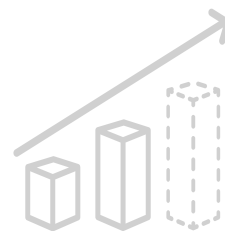
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？

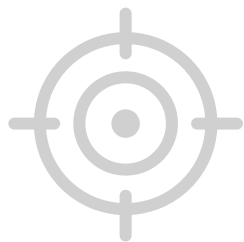


解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要

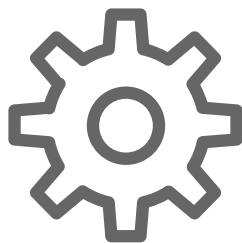


次への
アクション
Q&A

BIM Collaborate Pro セミナー



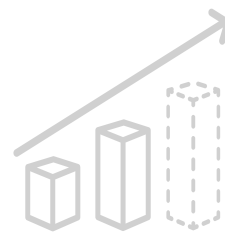
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？

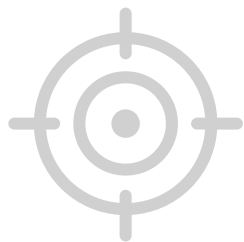


解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要

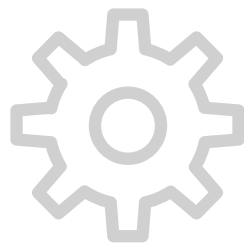


次への
アクション
Q&A

BIM Collaborate Pro セミナー



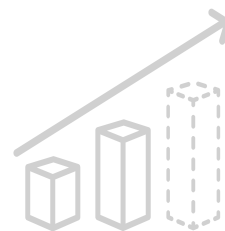
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？

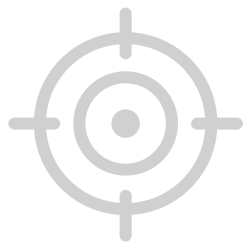


解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要

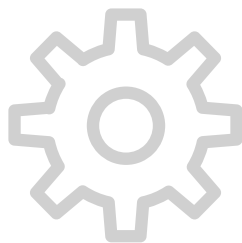


次への
アクション
Q&A

BIM Collaborate Pro セミナー



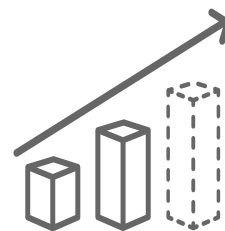
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？

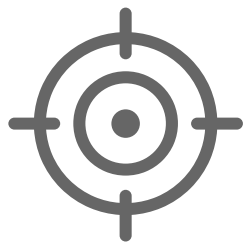


解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要

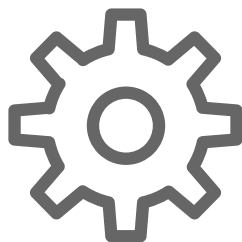


次への
アクション
Q&A

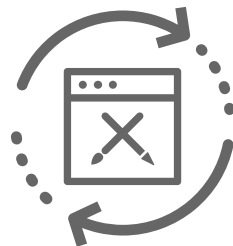
BIM Collaborate Pro セミナー



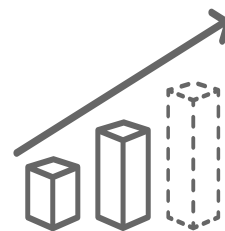
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？



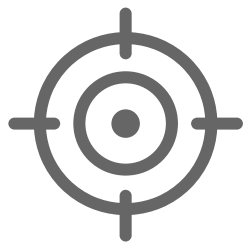
解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要



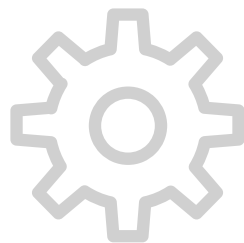
次への
アクション
Q&A

※本セミナーは詳細な機能紹介をするのではなく、まずは製品を利用した新しいワークフローを提案するものです。
デモ対応や機能詳細セミナー実施はセミナー最後のアンケートにてご要望をお受けいたします。

BIM Collaborate Pro セミナー



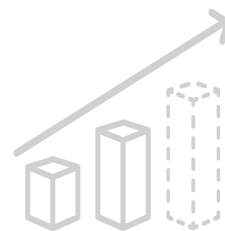
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？



解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要



次への
アクション
Q&A

建設市場の動向

2024年の建設市場予測

▲1.1%増の72兆2400億円と安定の見通し*

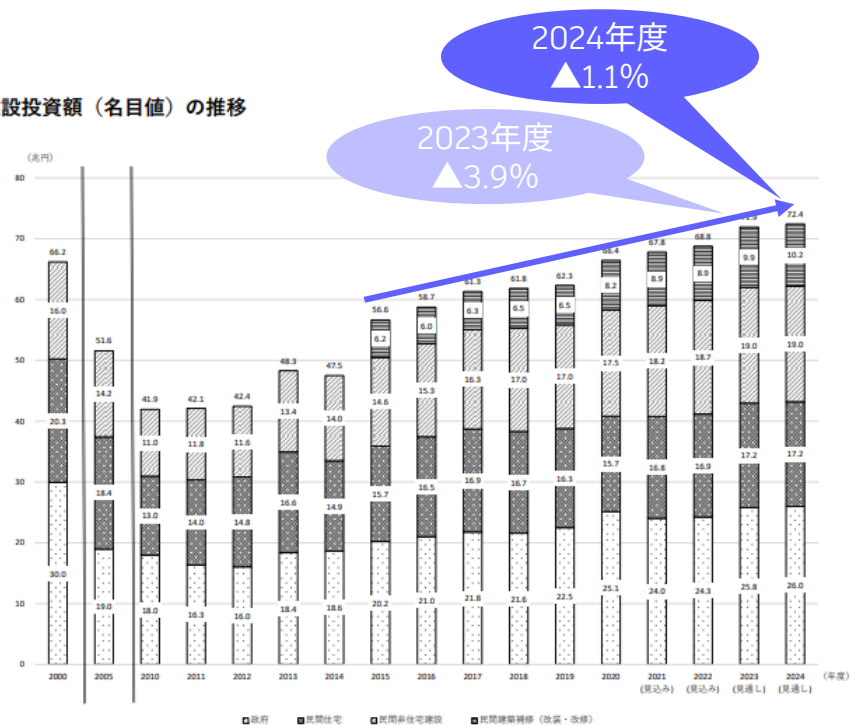
▼労働時間の規制

- 2024年4月残業規制猶予終了
- 上限無し→原則360時間/年・特例720時間/年
- 6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金
- 割増賃金
 - 大企業・中小企業ともに60時間を超える場

▼技能者不足

- 2025年までに100万人規模の**大量離職**

●建設投資額（名目値）の推移



*参考：建設経済研究所2024年1月公表 建設投資額見通し

ターゲットと目指す成果（例）

▼労働時間の規制

- 成果1、働き方改革と情報伝達の質を向上
 - 現状：不明瞭なワークフロー、情報伝達不足による手戻りや重複による時間のロス
 - 理想：明確でスムーズな標準業務フローを確立し、時短から上質な仕事に時間を割く

▼技能者不足

- 成果2、次世代への技術伝承
 - 現状：属人的な業務管理、技術伝承の仕組みがそもそもない
 - 理想：プロジェクト業務情報＝資産を、会社が一元管理し、設計初日から関係者共有により、技術伝承もできる環境を構築

ターゲットと目指す成果（例）

▼労働時間の規制

- 成果1、働き方改革と情報伝達の質を向上
 - 現状：不明瞭なワークフロー、情報伝達不足による手戻りや重複による時間のロス
 - 理想：明確でスムーズな標準業務フローを確立し、時短から上質な仕事に時間を割く

● 必要条件

- 様々な作業者と管理者等の協業を実現
→効率的なデータ共有が可能か？
- 標準フローとトラッキング運用
→データ活用ができる仕組み？
- 人とコンピュータの協業仕事
→自動化が可能な環境を選択しているか？

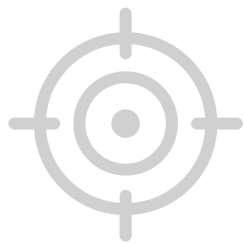
▼技能者不足

- 成果2、次世代への技術伝承
 - 現状：属人的な業務管理、技術伝承の仕組みがそもそもない
 - 理想：プロジェクト業務情報＝資産を、会社が一元管理し、設計初日から関係者共有により、技術伝承もできる環境を構築

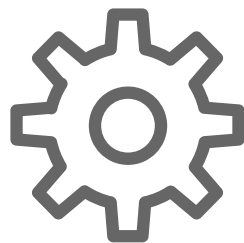
● 必要条件

- 共通データ環境の利用
→業務情報は会社の資産として集約可能か？
(SSOT)
※属人化はデータの置き場を変えるだけで実は始められる
- DXは建設BIMやBIM/CIMプロジェクト
→全プロジェクトを対象にできるか？

BIM Collaborate Pro セミナー



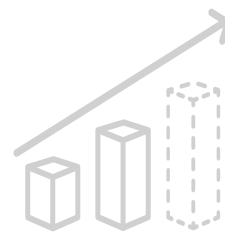
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？



解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要



次への
アクション
Q&A

就業時間の価値を上げる

3つのポイント

データ把握の時間



- 送られたデータが、見つからない...
- 似たようなファイルが乱立している...
- どれが最新版か、既に共有済みかも分からない...



※文書検索に作業時間の22%

データ統合の時間



- 元のモデルが重くて、統合に時間がかかる...
- 元のモデルが変わって、統合モデルの再作成が必要...
- ビューソフトが無いとモデルを共有できない...



データ/作業の待ち時間



- データが送られてこない
- データが更新された！関連データも編集しないと...
- 作業分担したいが、同じデータは触れない...
- 直、変更が起きるのなら、全部の変更を待って作業するか...



就業時間の価値を上げる

3つのポイント

データ把握の時間



- 送られたデータが、見つからない...
- 似たようなファイルが乱立している...
- どれが最新版か、既に共有済みかも分からない...



※文書検索に作業時間の22%

データ統合の時間



- 元のモデルが重くて、統合に時間がかかる...
- 元のモデルが変わって、統合モデルの再作成が必要...
- ビューワソフトが無いとモデルを共有できない...



データ/作業の待ち時間



- データが送られてこない
- データが更新された！関連データも編集しないと...
- 作業分担したいが、同じデータは触れない...
- 直、変更が起きるのなら、全部の変更を待って作業するか...



就業時間の価値を上げる

3つのポイント

データ把握の時間



- 送られたデータが、見つからない...
- 似たようなファイルが乱立している...
- どれが最新版か、既に共有済みかも分からない...



※文書検索に作業時間の22%

データ統合の時間



- 元のモデルが重くて、統合に時間がかかる...
- 元のモデルが変わって、統合モデルの再作成が必要...
- ビューワソフトが無いとモデルを共有できない...



データ/作業の待ち時間



- データが送られてこない
- データが更新された！関連データも編集しないと...
- 作業分担したいが、同じデータは触れない...
- 直、変更が起きるのなら、全部の変更を待って作業するか...



就業時間の価値を上げる

3つのポイント

データ把握の時間



- 送られたデータが、見つからない...
- 似たようなファイルが乱立している...
- どれが最新版か、既に共有済みかも分からない...



※文書検索に作業時間の22%

データ統合の時間



- 元のモデルが重くて、統合に時間がかかる...
- 元のモデルが変わって、統合モデルの再作成が必要...
- ビューワソフトが無いとモデルを共有できない...



データ/作業の待ち時間



- データが送られてこない
- データが更新された！関連データも編集しないと...
- 作業分担したいが、同じデータは触れない...
- 直、変更が起きるのなら、全部の変更を待って作業するか...



就業時間の価値を上げる

3つのポイント

データ把握の時間



- 送られたデータが、見つからない...
- 似たようなファイルが乱立している...
- どれが最新版か、既に共有済みかも分からない...



チーム間のデータ共有

データ統合の時間



- 元のモデルが重くて、統合に時間がかかる...
- 元のモデルが変わって、統合モデルの再作成が必要...
- ビューワソフトが無いとモデルを共有できない...



チーム間のデータ交換

データ/作業の待ち時間



- データが送られてこない
- データが更新された！関連データも編集しないと...
- 作業分担したいが、同じデータは触れない...
- 直、変更が起きるのなら、全部の変更を待って作業するか...



共同作業・並行作業

就業時間の価値を上げる

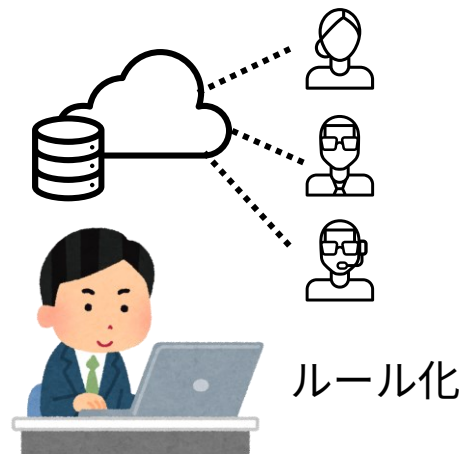
3つのポイント

チーム間のデータ共有

- いつ誰が何を共有したか、検索、管理できる
- 何が変わったか、確認できる

改善

プロジェクトデータの置き場所を
アクセスの柔軟性のある**共通データ環境 (CDE)**に
一元化するだけで関係者全員の時短に!!



就業時間の価値を上げる

3つのポイント

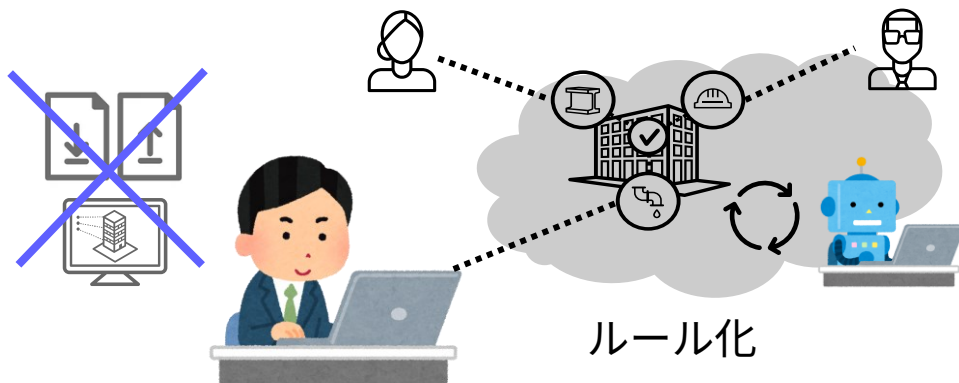
チーム間のデータ統合



- クラウド作業にて、複雑化する2D/3Dデータの参照、統合を可能に
- 特定のデスクトップ製品に頼らない
- **普段のデータ保存先**でクラウド統合するので、元のモデルの更新も保存と共に自動で反映
- プロセスを決めた後は**自動化**

改善

クラウド上でファイルの**統合モデル**作成
ダウンロード・アップロード、**統合設定**
にかかる時間を大幅に削減！
更に、**自動化**で更に**効率化**！



就業時間の価値を上げる

3つのポイント

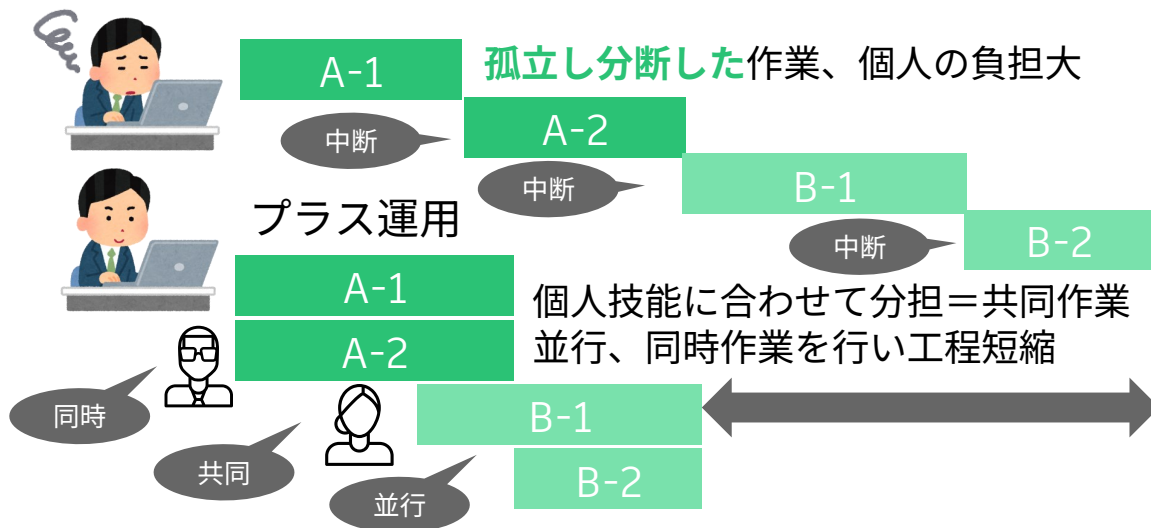
共同作業・並行作業



- 共同、並行作業で可能な作業を明確にし作業を継続
- 関連データの参照や自動更新を可能に

改善

共同・並行作業で**作業の中断を削減**
チームの時間の使い方が変わる！
アクセス（時間、場所）の柔軟性と分担により
更に個人の作業可能性を高める！

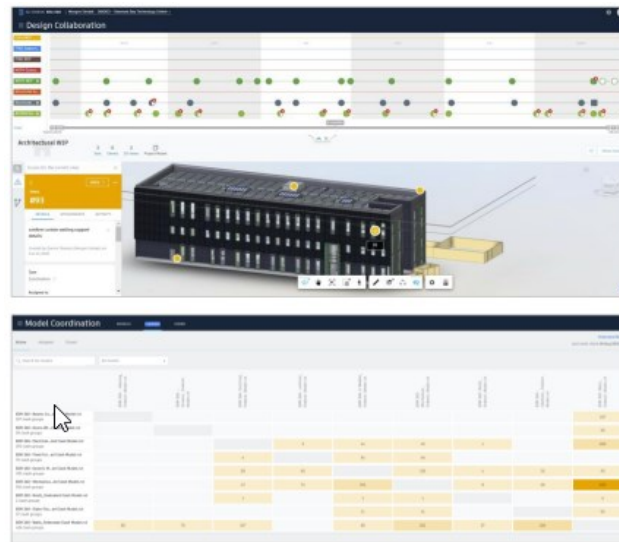


MORGAN SINDALL CONSTRUCTION

事例紹介

- 英国の大手建設会社
UK Government Construction Strategy に沿いデジタルコンストラクションを推進

**MORGAN
SINDALL**
CONSTRUCTION



MORGAN SINDALL CONSTRUCTION

統合ワークフローによる時短効果

Before

- バージョン等受領したデータ確認の時間
- 他チームの変更の特定にかかる時間
- データの同期、アップロード/ダウンロードにかかる**時間が膨大**
- 2D成果物でのエラー（不具合/不整合）が多すぎ、**内容確認に長時間**を消費
- チームの状況共有やより詳細な内容を利害関係者に説明する義務にも課題
- 統合モデルと干渉チェックプロセスに**約3週間**を消費



After

- **20%**の情報確認作業の**削減**
- 比較ツールによる変更の可視化により、変更の特定にかかる時間を**50%削減**
- 全関係者が**ほぼリアルタイム**で設計を確認可能となり、設計作業の中断も削減
- 2D/3Dでの変更やエラーの特定プロセスが大幅に改善、各自が作業を解決し、管理するようになり、**62%の時短**
- **変更分析機能**により、プロジェクトのリスクを軽減と併せ、**責任の所在の明確化**
- 他分野との調整のためのモデル更新にかかる時間を**20%向上**、干渉チェックの自動検出とグループ化を**数分**で完了

**意思決定のプロセスを
統合ワークフローを明確化し、
共同・並行作業で
就業時間の価値を倍増！**

ABC Pro 活用方法ワークフロー

建築編：モデル統合フロー・共同編集

C AUTODESK BIM Collaborate Pro

Revit Cloud Worksharing

Workflow Overview



ABC Pro 活用方法ワークフロー

土木編：モデル統合・データ共有・コラボレーション

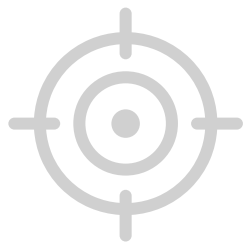
C AUTODESK BIM Collaborate Pro

Collaboration for Civil 3D

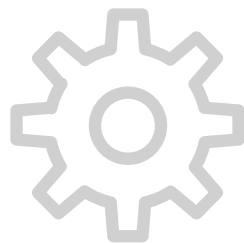
Workflow Overview



BIM Collaborate Pro セミナー



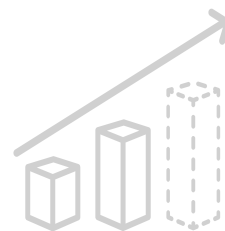
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？

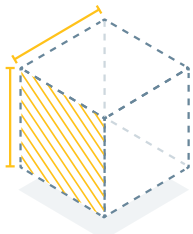


解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要



次への
アクション
Q&A

AUTODESK Construction Cloud



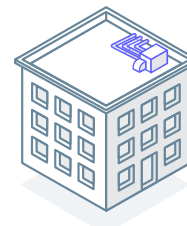
調査・計画



設計



施工



維持管理・運営



AUTODESK
Docs

[共通データ環境]



AUTODESK
BIM Collaborate
Pro

[チームをまたいだ
共同作業]



AUTODESK
Takeoff

[数量拾い・集計]

















































AUTODESK
Build

[施工管理]

Autodesk Construction Cloud 各製品で提供するモジュール

※プラットフォームの機能

※各ソフトウェアへの追加機能

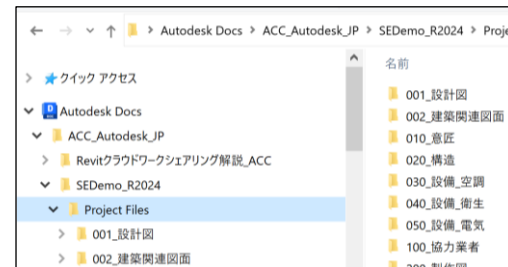
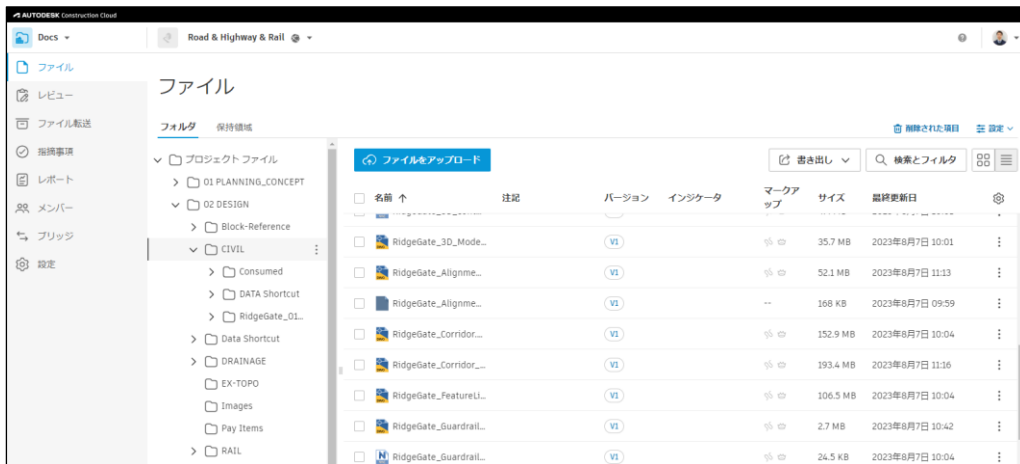
 AUTODESK Architecture Engineering & Construction Collection	 AUTODESK Docs	 AUTODESK BIM Collaborate	 AUTODESK BIM Collaborate Pro	 AUTODESK Takeoff	 AUTODESK Build
※ACC & BIM360 ACC 機能モジュール	※ACC & BIM360 ACC 機能モジュール	※ACC のみ利用可 ACC 機能モジュール		※ACC のみ利用可 ACC 機能モジュール	※ACC のみ利用可 ACC 機能モジュール
<div data-bbox="59 438 305 559" style="border: 2px solid red; padding: 5px;">  Docs <ul style="list-style-type: none"> • 共通データ環境 (CDE) • ファイルの管理や閲覧 • 指摘事項によるタスク管理 </div>	<div data-bbox="363 438 608 559" style="border: 2px solid red; padding: 5px;">  Docs <ul style="list-style-type: none"> • 共通データ環境 (CDE) • ファイルの管理や閲覧 • 指摘事項によるタスク管理 </div>	<div data-bbox="664 438 794 490" style="border: 1px solid red; padding: 5px;">  Docs </div> <div data-bbox="664 494 981 668" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;">  Design Collaboration <ul style="list-style-type: none"> • チーム間でのデータ共有  Model Coordination <ul style="list-style-type: none"> • モデルの統合と干渉チェック </div>	BIM Collaborate に加え 下記のソフトウェアに 機能を追加 <ul style="list-style-type: none">  Revit Cloud Worksharing  Collaboration for Civil 3D  Collaboration for Plant 3D 	<div data-bbox="1317 438 1466 490" style="border: 1px solid red; padding: 5px;">  Docs </div>  Takeoff <ul style="list-style-type: none"> • 2D, 3D の積算 	<div data-bbox="1619 438 1748 490" style="border: 1px solid red; padding: 5px;">  Docs </div>  Build <ul style="list-style-type: none"> • 設計と施工の情報管理  Cost <ul style="list-style-type: none"> • 予算管理
管理用モジュール <ul style="list-style-type: none">  Account Admin  Project Admin  Insight 		現場測定機器との連携 <ul style="list-style-type: none">  BIM 360 Layout <ul style="list-style-type: none"> • BIM モデルと測量機器の連携 ※ Android のみ 		管理用モジュール <ul style="list-style-type: none">  Account Admin  Project Admin  Insight 	管理用モジュール <ul style="list-style-type: none">  Account Admin  Project Admin  Insight
<ul style="list-style-type: none">  AutoCAD  Civil 3D  InfraWorks  Revit  Navisworks 	管理用モジュール <ul style="list-style-type: none">  Account Admin  Project Admin  Insight 	管理用モジュール <ul style="list-style-type: none">  Account Admin  Project Admin  Insight 		管理用モジュール <ul style="list-style-type: none">  Account Admin  Project Admin  Insight 	管理用モジュール <ul style="list-style-type: none">  Account Admin  Project Admin  Insight

Docs モジュール

共通データ環境を提供するモジュール



- クラウドストレージ
 - データ容量：無制限
 - アクセス権限の設定
 - フォルダ単位、ユーザ単位
 - Desktop Connector
 - Windows のファイルエクスプローラで Autodesk Docs にアクセス可能
 - バージョン管理・比較
 - データ共有
 - パブリックリンク／ブリッジ



Docs モジュール

共通データ環境を提供するモジュール

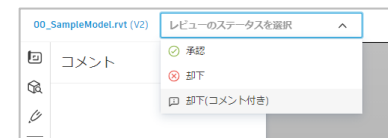
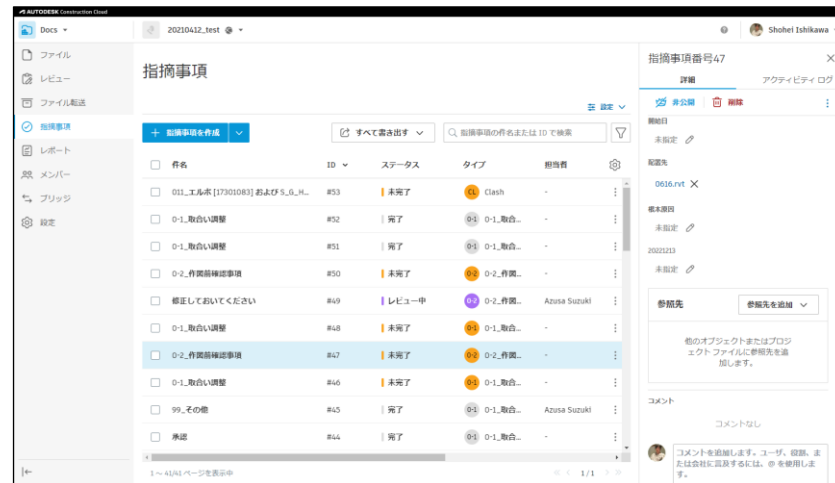
- オンラインビューワ
 - ドキュメント表示
 - Word, Excel, PowerPoint, PDF, ...
 - CAD (2D) ・ BIM/CIM モデル (3D) 表示
 - オートデスク製の 2D/3D データ
 - AutoCAD, Revit, Navisworks 等多数
 - 他社製を含む 2D/3D データ
 - IFC, Sketchup, Rhino, ...



Docs モジュール

共通データ環境を提供するモジュール

- コミュニケーション・プロセス管理機能
 - 指摘事項（タスク管理）
 - 作業指示や進捗管理を CDE 上で実施
 - カテゴリ, 担当者, 期日 の指定
 - コメント の入力
 - ステータスの管理（未完了, レビュー中, ...）
 - レビュー（承認プロセス）
 - ドキュメントの承認プロセスを CDE 上で管理
 - 承認フロー の指定（多段階を含む）
 - レビュー担当者の指定
 - ステータスの管理（承認, 却下, コメント追記, ...）



Autodesk 共通データ環境

Autodesk Construction Cloud

- Docs 活用を始める前のお勧め動画
 - アカウントとライセンスの理解
 - アクティベーション
 - プロジェクト開始についての解説



- 使用範囲検討にお勧め動画
 - 共通データ環境“CDE”とは？
 - BIM 360 と Autodesk Docs
 - Docs 活用 5 ステップ（個別動画あり）

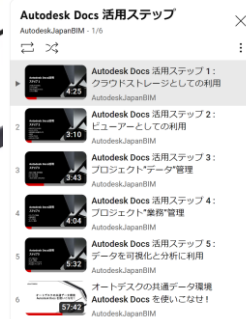
AUTODESK

オートデスクの共通データ環境 Autodesk Docsを使いこなせ！

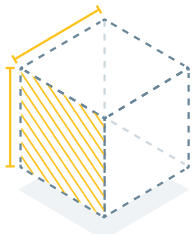
ビギナー向けからビジネス分析まで

オートデスク株式会社 技術営業本部 シヤブ倫季
AECソリューションエンジニア

© 2021 Autodesk. All rights reserved.



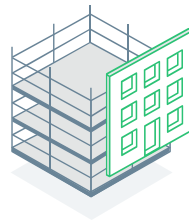
AUTODESK Construction Cloud



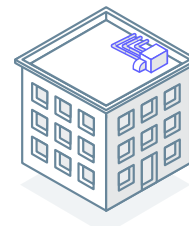
調査・計画



設計



施工



維持管理・運営



AUTODESK
Docs

[共通データ環境]



AUTODESK
BIM Collaborate
Pro

**[チームをまたいだ
共同作業]**



AUTODESK
Takeoff

[数量拾い・集計]



AUTODESK
Build

[施工管理]



AUTODESK BIM Collaborate Pro

リアルタイムの共同作業を可能にする、クラウドベースの情報管理プラットフォーム



Docs

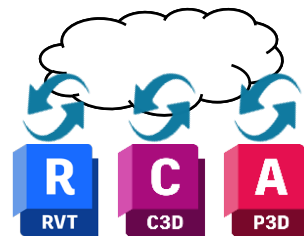


共通データ環境 (CDE)

- 柔軟な権限設定
- 2D/3D データを含む、資料の閲覧や管理
- タスクの管理 (指摘事項・マークアップ)

Worksharing / Collaboration

- Revit : 中央ファイルをクラウド上に配置し、社内外の関係者と同時編集
- Civil 3D, Plant 3D : どこでもコラボレーション



Design Collaboration

タイムラインでチーム間の情報共有

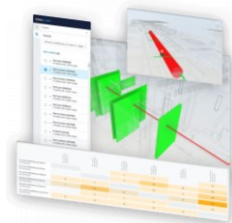
- パッケージのレビューと共有
- パッケージのバージョン比較
- 指摘事項の管理



Model Coordination

モデルの自動統合と、自動干渉チェック

- 干渉部位のグループ化
- 指摘事項の管理





AUTODESK BIM Collaborate

リアルタイムの共同作業を可能にする、クラウドベースの情報管理プラットフォーム



Docs



共通データ環境 (CDE)

- 柔軟な権限設定
- 2D/3D データを含む、資料の閲覧や管理
- タスクの管理 (指摘事項・マークアップ)



Design Collaboration

タイムラインでチーム間の情報共有

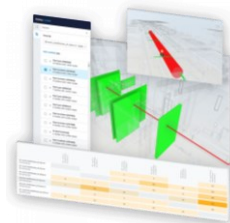
- パッケージのレビューと共有
- パッケージのバージョン比較
- 指摘事項の管理



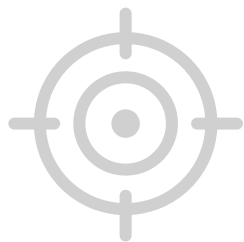
Model Coordination

モデルの自動統合と、
自動干渉チェック

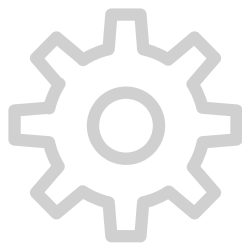
- 干渉部位のグループ化
- 指摘事項の管理



BIM Collaborate Pro セミナー



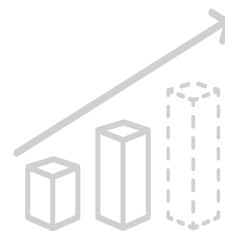
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？



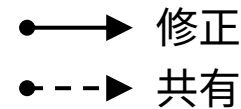
解決方法と
活用シナリオ
シナリオ 01-
データの共有



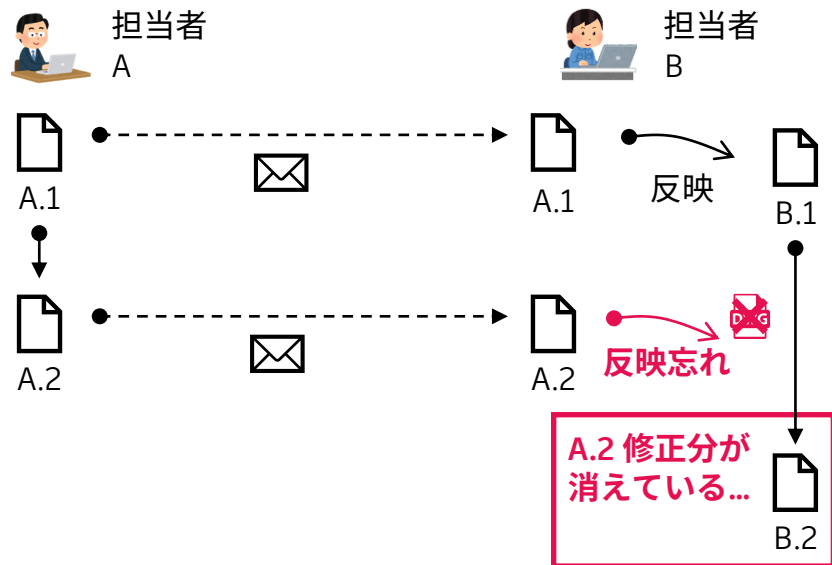
次への
アクション
Q&A

BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

01. データを共有するとき



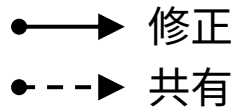
Before



メールでデータの作成や更新を告知
誤ったデータを基に作業するリスクあり

BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

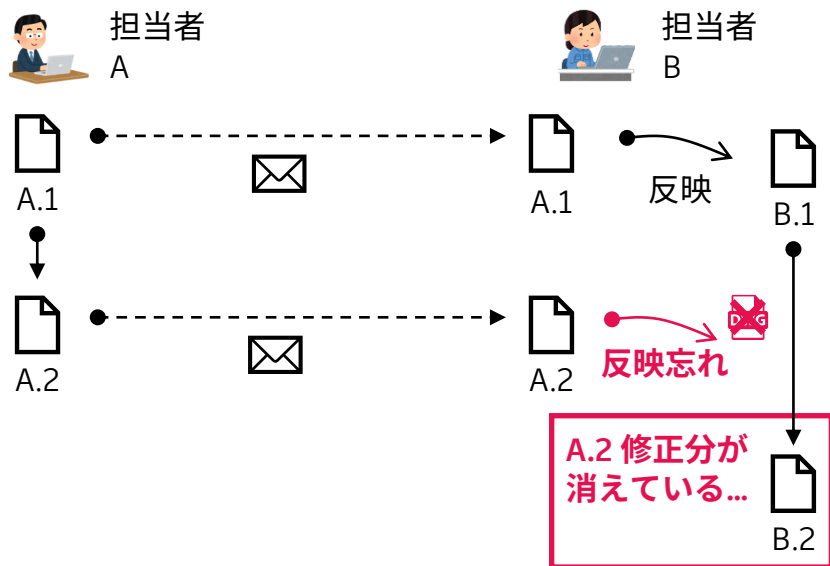
01. データを共有するとき



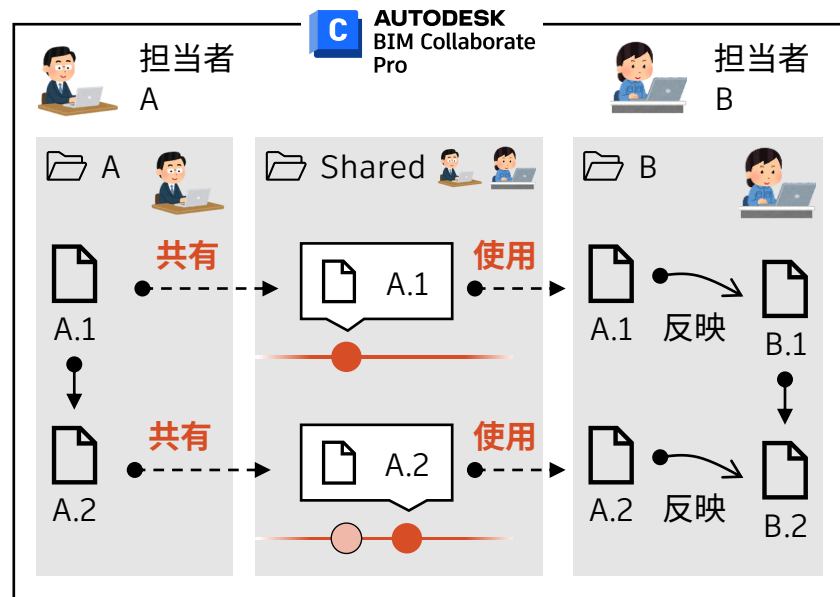
Before



After



メールでデータの作成や更新を告知
誤ったデータを基に作業するリスクあり







タイムラインでデータの共有の履歴を確認
常に最新のデータを基に作業が可能

BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

01. データを共有するとき

Before

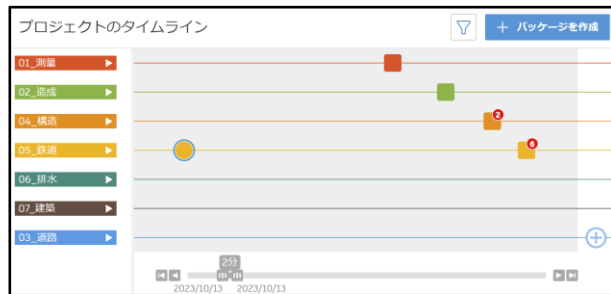
- ファイルの共有方法に問題がある
 - ファイルが共有されていたはずだけど、どこにあったっけ？ 何がどう変わったんだっけ？
 - ファイルを更新したけれど、他のチームに共有したっけ？
- ファイルの作成・管理方法に問題がある
 - ファイルを何回もダウンロードしていたら、どれで作業していたか分からなくなった...

名前	更新日時
 設計データ_Ver1.dwg	2023/12/25 11:18
 設計データ【変更反映】.dwg	2023/12/25 11:24
 設計データ【最新版】.dwg	2023/12/25 14:42
 設計データ【Aさん指摘分の修正】.dwg	2023/12/25 17:52



After

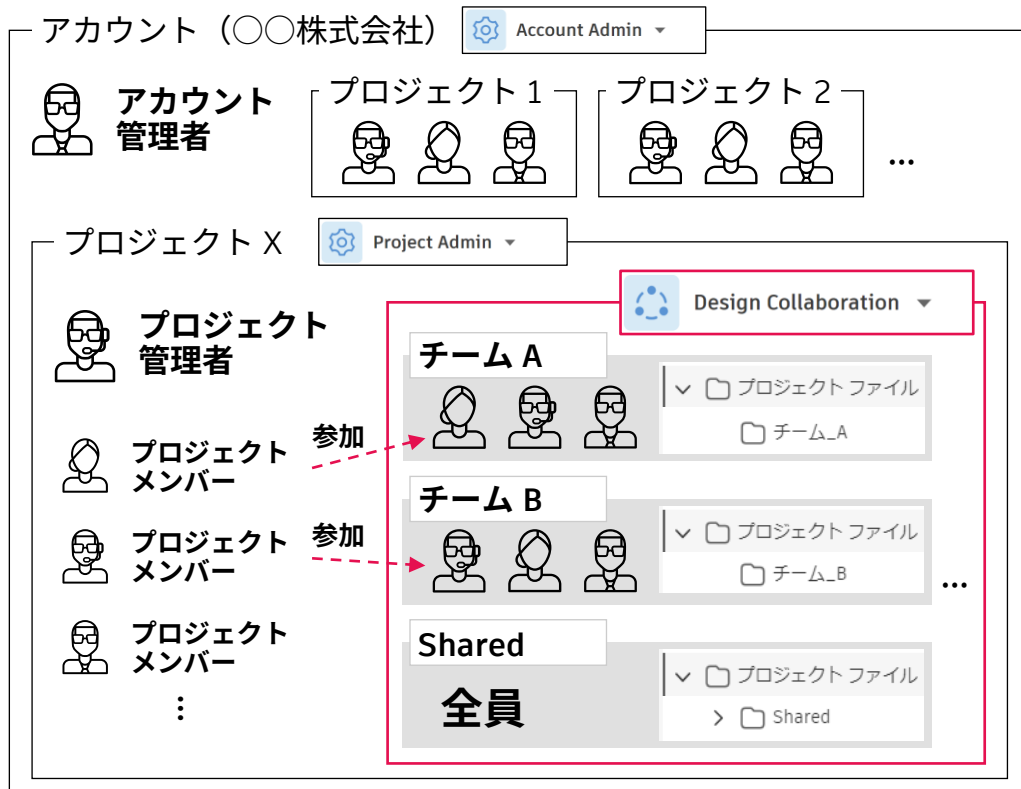
- チームを作成し、チーム単位でフォルダ構成やアクセス権限を管理できる
- タイムライン形式で、データの共有の履歴が可視化される
 - いつ何を共有したか？
 - いつ何を共有してくれたか？
 - 共有されたファイルは、以前と何が変わったか？



Design Collaboration モジュール

データ共有を、視覚的に管理するモジュール

- チーム空間を作成
 - チームメンバーを割り当て
 - チームメンバーのみアクセスできるフォルダを作成
 - 全員がアクセスできるフォルダを作成
- これらのチーム構成は、
テンプレートとして保存可能



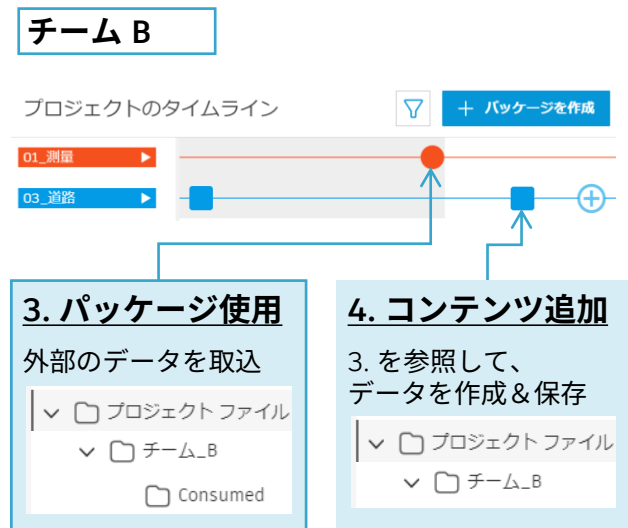
Design Collaboration モジュール

データ共有を、視覚的に管理するモジュール

- チーム間でデータ共有
 - 共同タイムライン上で、パッケージを共有&確認
 - チーム A：自分たちのフォルダで作業
 - チーム A：作業成果を“パッケージ”化して公開
 - チーム B：“パッケージ”を読み込み、作業を開始
 - タイムライン上の記号で共有状況を確認
 - 最新の成果を共有したか？
 - 共有された最新の成果を反映したか？
 - チーム内で、いつモデルを作成したか？

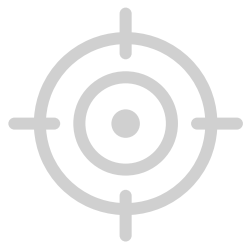


記号	意味
■	モデルを作成 or 更新した
●	作成したパッケージを共有した
○	作成したパッケージを共有していない

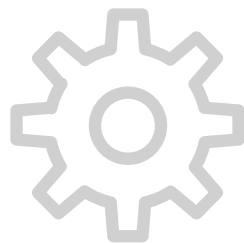


記号	意味
■	モデルを作成 or 更新した
●	共有されたパッケージを使用した
○	共有されたパッケージを使用していない

BIM Collaborate Pro セミナー



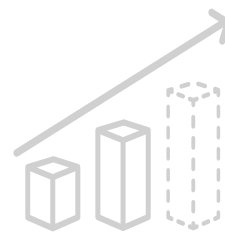
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？



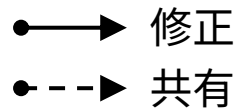
解決方法と
活用シナリオ
シナリオ 02 -
統合モデルの作成と共有



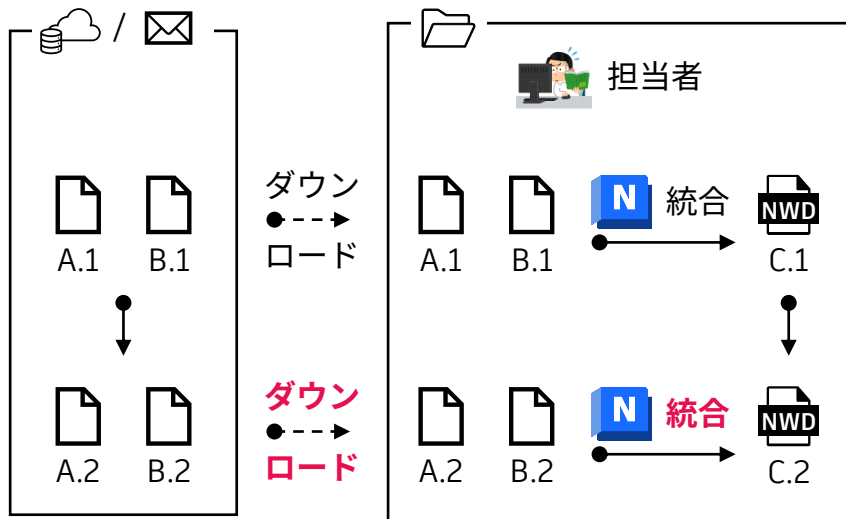
次への
アクション
Q&A

BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

02. 複数のデータから、統合モデルを作成するとき



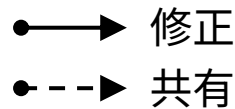
Before



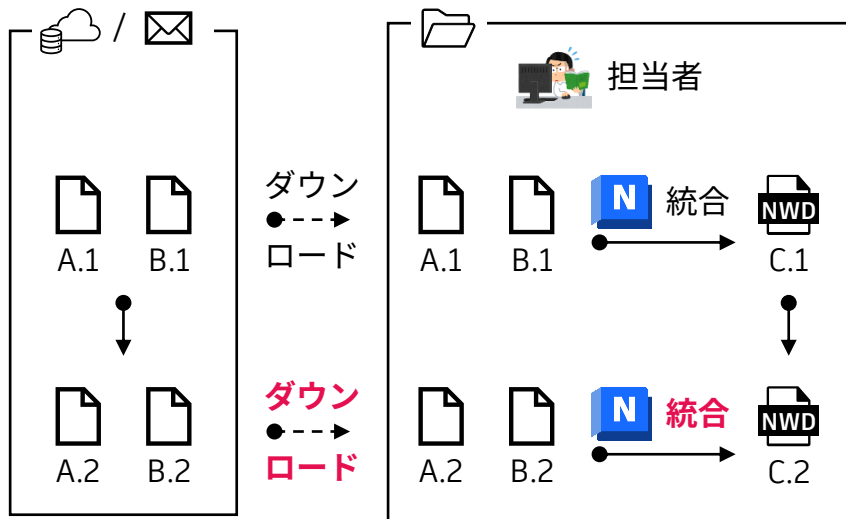
モデルをダウンロードし、統合
元のモデルが更新されると、一から作業をやり直し

BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

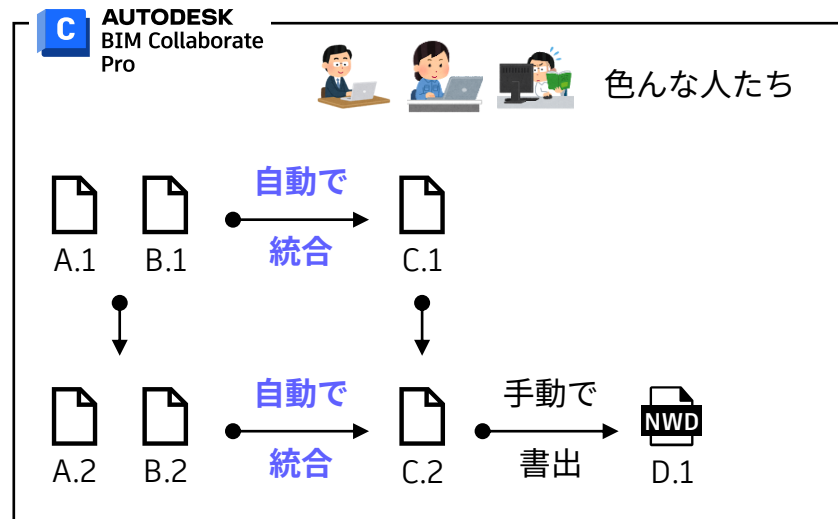
02. 複数のデータから、統合モデルを作成するとき



Before



After



モデルをダウンロードし、統合
元のモデルが更新されると、一から作業をやり直し

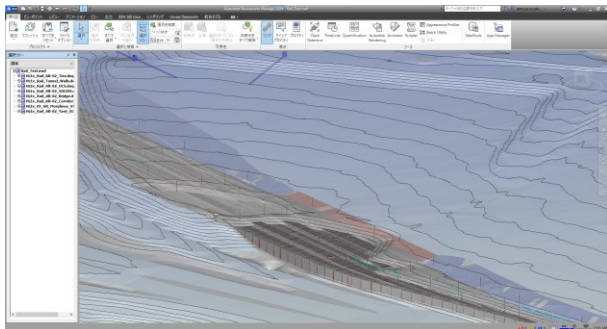
クラウド上でモデルを自動で統合
元のモデルが更新されると、統合モデルも自動で更新
統合モデルは NWD 形式に出力することも可能

BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

02. 複数のデータから、統合モデルを作成するとき

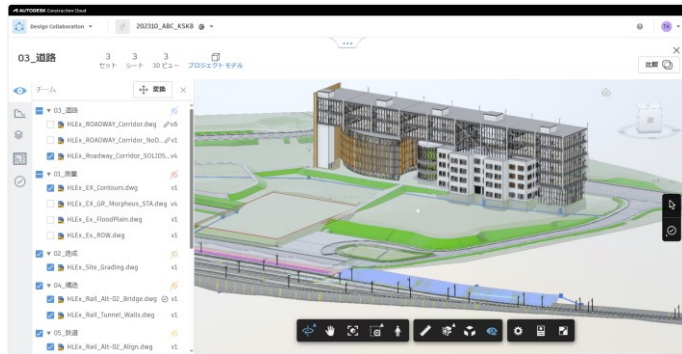
Before

- Navisworks でのファイルの読込／更新に時間がかかる
 - ファイルを毎回ダウンロードする必要がある
 - ファイルを絞って更新が出来ない
 - パスが一度切れると、更新が出来ない



After

- 統合モデル化したいファイルを選択し、すぐに統合モデルが作れる
 - ファイルの追加や除去も簡単に行える
 - ブラウザ上で統合モデルを確認できる
- 参照するファイルは、常に最新版



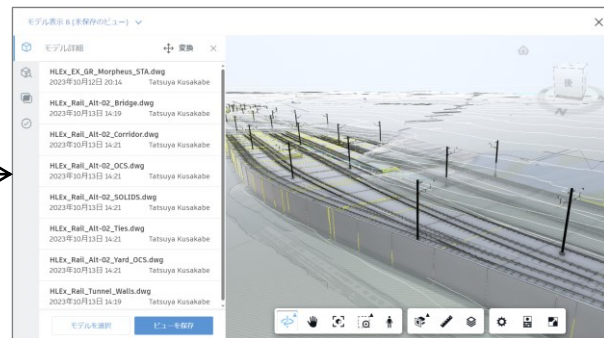
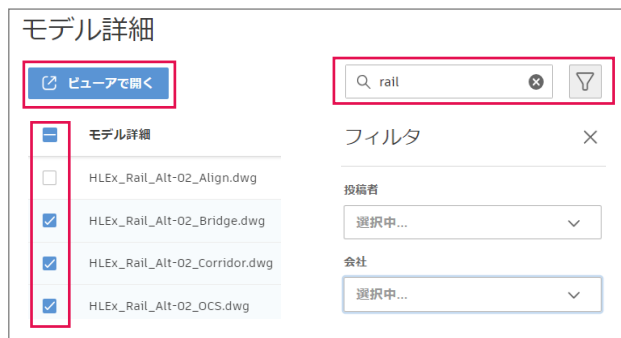
Model Coordination モジュール

モデルの統合・管理や干渉チェックを、効率的に実行するモジュール

● 統合モデルの作成

- チーム別に、統合モデル空間を作成
- 統合モデル空間の中で、個別のモデルを選択
 - ・ 検索・フィルタも可能
- 選択したモデルを統合

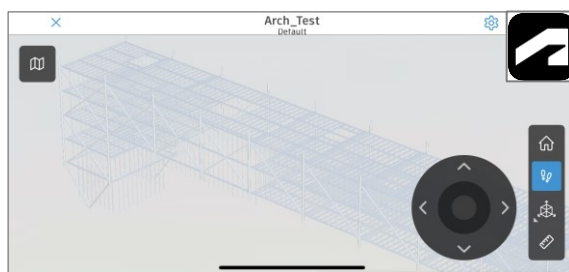
統合モデルの作成



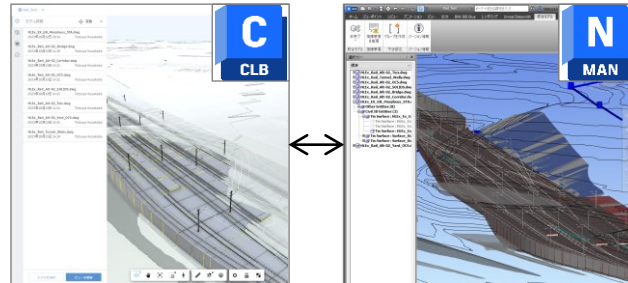
● 統合モデルの出力

- Docs に出力
 - ・ iOS, Android の ACC アプリからも確認可能
- Navisworks で開く
 - ・ ビューを NWD 形式で保存
 - ・ [Navisworks Coordination Issues Addin](#) が必要

統合モデルの出力 – Autodesk Docs



統合モデルの出力 – Navisworks



Model Coordination モジュール

モデルの統合・管理や干渉チェックを、効率的に実行するモジュール

● 干渉チェック – 作成

- 統合モデルに対し、
自動で干渉チェックを実行
- 様々なファイル形式に対応
 - RVT, DWG, NWC, IFC
 - 詳細は [こちら](#)
- 干渉箇所をグリッド形式で表示
- 干渉対象のモデルを絞り込み

干渉部位

Shared

最後の干渉チェック 2023年10月20日 17:58

アクティブ 完了

検索 HLEx

Rail_Test

8 モデル (11 個が非表示)

	HLEX_EX_GR_Morpheus_STA.dwg	HLEX_Rail_Alt-02_Bridge.dwg	HLEX_Rail_Alt-02_Corridor.dwg	HLEX_Rail_Alt-02_OCS.dwg	HLEX_Rail_Alt-02_SOLID5.dwg	HLEX_Rail_Alt-02_Heading.dwg	HLEX_Rail_Alt-02_Yard_OCS.dwg	HLEX_Rail_Tunnel_Walls.dwg
HLEX_EX_GR_Morpheus_STA.dwg	1 個の干渉部位グループ							
HLEX_Rail_Alt-02_Bridge.dwg		26 個の干渉部位グループ						
HLEX_Rail_Alt-02_Corridor.dwg			6 個の干渉部位グループ					
HLEX_Rail_Alt-02_OCS.dwg				125 個の干渉部位グループ				

フィルタ

投稿者

選択中...

会社

選択中...

日付

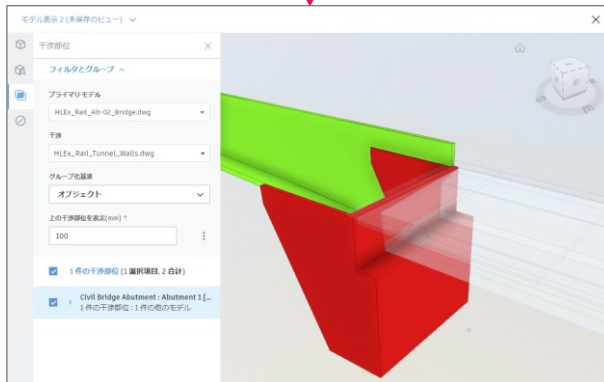
2023/1... → 2023/10...

モデル詳細

すべてのモデル

● 干渉チェック – 個別に確認

- 干渉箇所のグリッドを選択 →
結果を表示
- 干渉の分類方法や許容値を変更
 - Navisworks のような、
クリアランスの設定は不可



グループ化基準

検索中...

オブジェクト

elementId ✓

General/Layer name

Information/Color

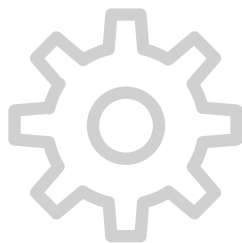
上の干渉部位を表示(mm) ↑

100

BIM Collaborate Pro セミナー



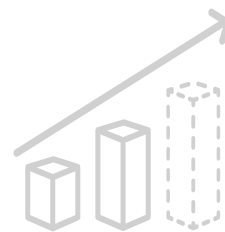
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？



解決方法と
活用シナリオ
シナリオ 03 -
共同・並行作業

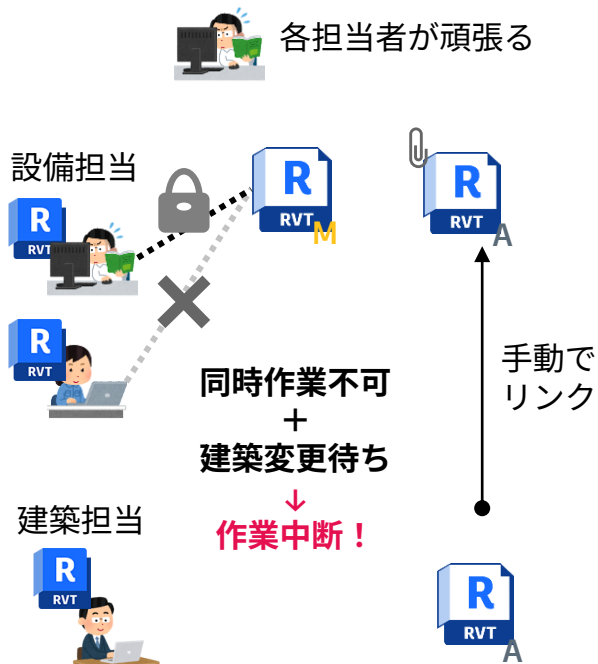


次への
アクション
Q&A

BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

03. 共同・並行作業 ～ Revit編

Before



待ち時間が多く、進行状況が不透明

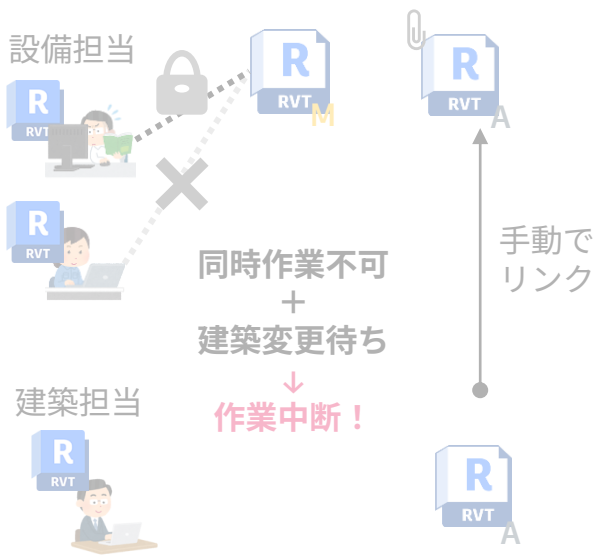
BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

03. 共同・並行作業 ～ Revit編

Before



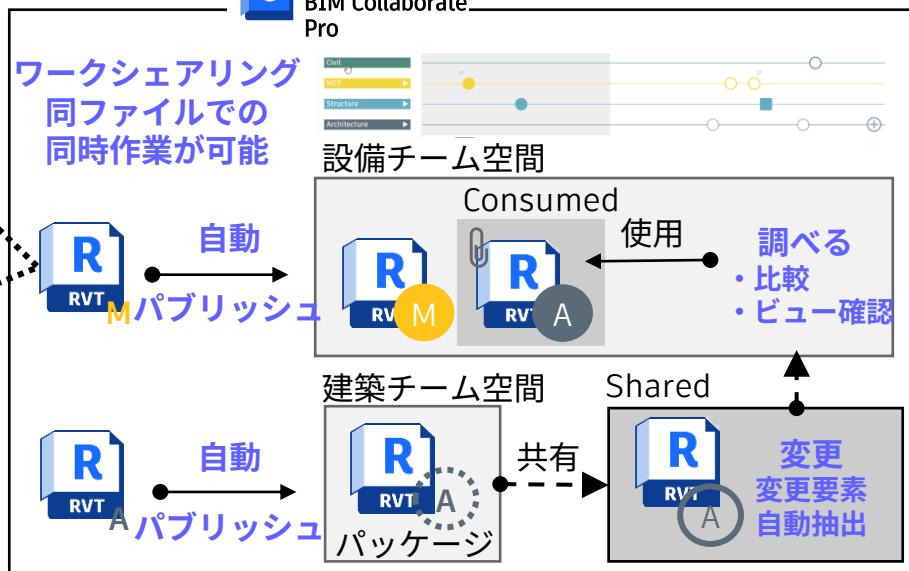
After



待ち時間が多く、進行状況が不透明



各チームワークで頑張る



他のチームデータを参照しながら作業を進められる

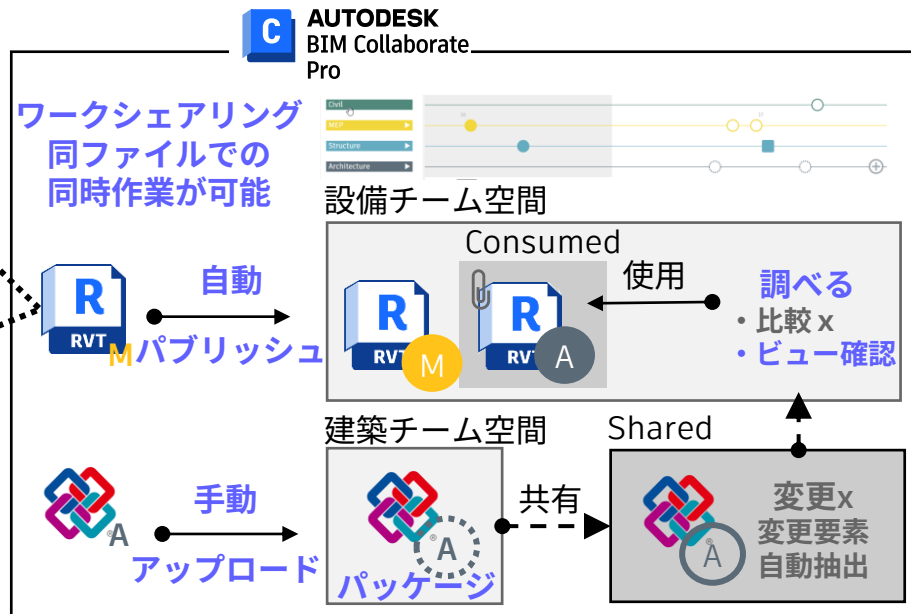
BIM Collaborate Pro 活用シナリオ

03. 共同・並行作業 ～ Revit+IFC編

Before



After



他のチームデータを参照しながら作業を進められる

BIM Collaborate Pro 限定機能

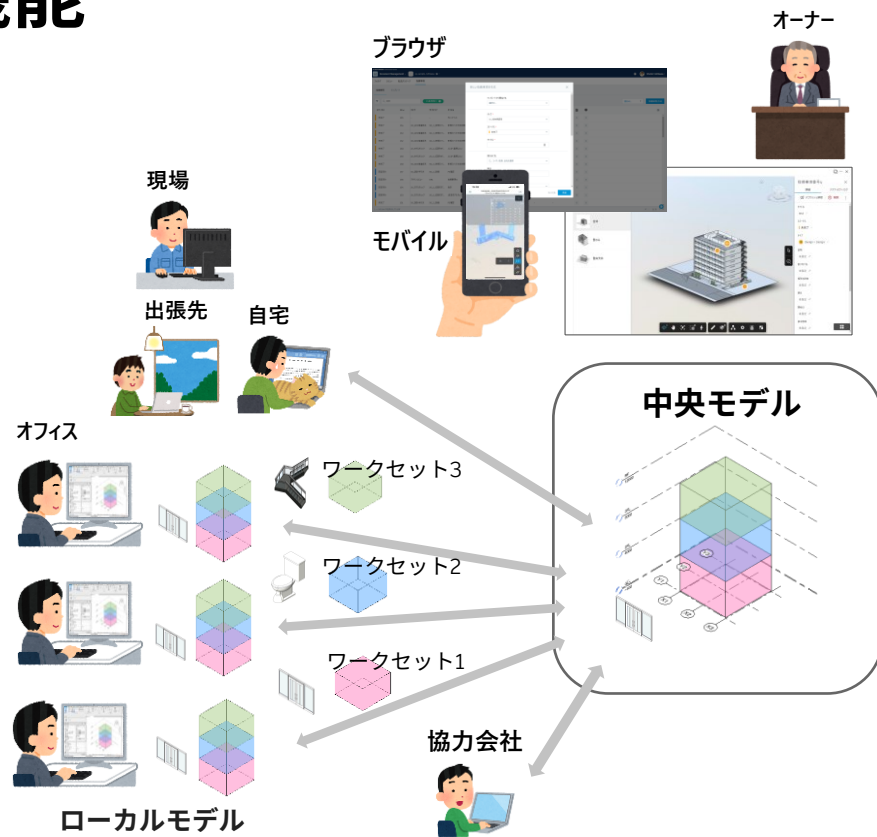
クラウドワークシェアリング & コラボレーション

- Revit Cloud Worksharing

- Revit機能ワークシェアリング（同時編集）
をAutodesk Construction Cloudでも可能に
- 一元化データ上でチームワークを可能に
- 社内外のメンバーがアクセス可能かつ、
アクセス権限設定が可能
- Revitからの自動パブリッシュ機能搭載
※週でのスケジュール設定

- Collaboration for Civil 3D
Collaboration for Plant 3D

- チーム間で Civil 3D/ AutoCAD Plant 3D ファイル、
データショートカット、
外部参照を一元的に管理、安全にアクセス
クラウド保存先から同じdwgの複数参照が可能



BIM Collaborate Pro で、あなたの悩みを解決

3つの価値

チーム間のデータ共有

- いつ誰が何を共有したか？
情報共有の流れを把握
- 組織やオフィスをまたいで、
スムーズに情報共有

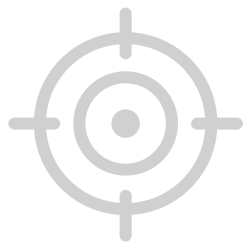
チーム間のデータ統合

- 各種モデルを統合し、
案件の全容を簡単に確認
- 重たいモデルも、
効率的に共有

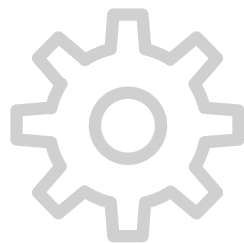
共同作業・並行作業

- 共同、並行作業で可能な作
業を明確にし作業を継続
- 関連データの参照や
自動更新を可能に

BIM Collaborate Pro セミナー



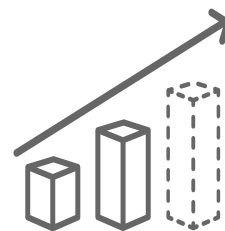
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件



就業時間の
価値を上げる？



解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要



次への
アクション
Q&A

次へのアクション！



30日間無償体験



セルフサービス



パートナー様支援



担当デモ依頼 &
セミナー参加希望

無償体験

<https://www.autodesk.co.jp/products/bim-collaborate/overview>

- アカウント管理者として無料体験を30日間実施可能

AUTODESK

無償体験を開始

無償体験を開始

営業チームにご相談ください 0120-430-140

BIM Collaborate Pro を購入

バージョン ● BIM Collaborate Pro ● BIM Collaborate

期間を選択

☆ 1ヵ月契約と比較して 33% お得

3年 ¥475,200 価格税別	1年 ¥158,400 価格税別	1ヵ月 ¥19,800
------------------------	------------------------	----------------

カートに追加

クレジットカード・PayPal・銀行振込・コンビニ決済でお支払い可能です。

営業チームにご相談ください (請求書払い対応) 0120-430-140

エキスパートの丁寧なサポート | 30日間の返金保証 | 柔軟かつ安全に購入 | オートデスクで購入するメリットをさらに詳しく

AUTODESK

アカウント

体験版にアクセスする

アクティブな体験版

製品	残り日数
BIM Collaborate Pro	30

購入する

別の体験版を開始する

体験版を最大限に活用しましょう

簡単なチュートリアルやおすすめの学習リストを使用して、基本を学習したり、スキルを磨くことができます。

学習を見る

セルフサービス

製品の活用を進める3つの手段

1. [Autodesk Construction Cloud](#) [セルフサービスガイド](#)

お勧め!!

- 資料リンクまたは、BIM Design検索
 - 建築>製品ページ：Autodesk Construction Cloud 製品
- Autodesk Construction Cloud (ACC) ラーニングセンター
 - 英語コース他を日本語設定方法を含め掲載

2. HELPページ

- Autodesk Construction Cloud を開く
各モジュールを開く
?マークをクリック>ヘルプページ

The screenshot displays the Autodesk Construction Cloud (ACC) user interface. At the top, the header includes the Autodesk logo and 'AUTODESK Construction Cloud'. Below the header, there are three main navigation cards: 'Docs', 'BIM Collaborate', and 'BIM Collaborate Pro'. A blue callout box highlights the 'Docs' card. Below these cards, a '関連アイテム' (Related Items) section features several tiles, including 'Autodesk Construction Cloud セルフサービスガイド' (highlighted with a red box), '建築向け 今すぐ解決したい! 残業を減らすコツ', 'DX向け 建設DXはオートデスクソリューションで実現!', '製品カタログ Autodesk Construction Cloud', 'ACC(BIM360) Learning Center (オンライントレーニングサイト)', and 'ACC Learning Center 解説資料'. A large question mark icon with a red arrow points to the user profile icon in the top right corner of the interface. Below the interface, a dropdown menu is shown, with the 'ヘルプ' (Help) option highlighted by a red box. Other options in the menu include 'ラーニングセンター', 'サポートに問い合わせ', '使用条件', and '概要'.

Autodesk Construction Cloud セルフサービスガイド

このガイドページでは、オートデスクが提供する英語サイトAutodesk Construction Cloud Learning Centerをご活用いただくために、特にご活用いただきたい学習項目を優先的に日本語解説付きでご紹介しているものです。その他、参考情報も掲載予定ですので、是非社内のACC導入にお役立てください。

[ACCラーニングセンター概要](#)[日本語設定ガイド](#)

アカウント管理者向け

Account Administration コースではAutodesk Construction Cloud (ACC) の利用開始にあたり、2レベルの管理者（アカウント管理者、プロジェクト管理者）が把握しておきたい基礎を学習することができます。また、アカウント管理の理解関連のセミナーをご覧いただけます。（英語：上即日本語設定ガイドボタンをご利用ください）

アクティベーション

契約マネージャーが Autodesk Construction Cloud のサブスクリプションをアクティベートする方法を学びましょう。

アクティベーション (7分)

アカウント管理

Autodesk Construction Cloud 内で「アカウント管理者」ができることについて説明します。

アカウント管理者 (25分)

プロジェクト管理

「プロジェクト管理者」が Autodesk Construction Cloud 内で何が出来るかを学びます。

プロジェクト管理 (33分)

インサイト

統一されたアカウント、プロジェクトレベルでデータを可視化・予測的洞察(ヒント)を全ユーザーへ提供する方法を学びます。

インサイト (2項目 56分)



参考：Autodesk Docs を使い始めよう (日本語セミナー)

BIM & CIM ~ ACC導入支援パートナー

● 建築：パートナー

Autodesk Construction Cloud, BIM360を含む
Autodesk Platform Services, 旧Forge

	コンサルタティング	トレーニング	オペレータ支援	拡張機能フル開発 Dynamoを含むAPI	連携アプリケーション	Revitファミリ (部品/製作)	その他	イテネション情報
アジアクエスト株式会社				ACC	APS			
協賛パートナー 有限会社アド設計	Revit	Revit		Revit Dynamo	Revit	Revit		2023.5更新
有限会社アミューズワークス	Revit	Revit	Revit			Revit		2023.5更新
協賛パートナー 株式会社イイズミコンサルティング	Revit	Revit			Revit	Revit		2023.5更新
株式会社AMDiab	Revit ACC Dynamo	Revit Dynamo			Revit Navisworks APS		Revit Navisworks APS	
株式会社エヌ・アンド・アイ・システムズ	Revit	Revit	Revit	Revit APS	Revit APS	Revit	Revit APS	
株式会社MBFtecnic	Revit Navisworks	Revit Navisworks	Revit Navisworks	Revit Navisworks	Revit Navisworks	Revit Navisworks		
協賛パートナー 応用技術株式会社	Revit Navisworks ACC Dynamo ACC	Revit Navisworks ACC		Revit Navisworks ACC	Revit Navisworks ACC APS ACC	Revit	Revit Navisworks ACC Dynamo ACC	
協賛パートナー 株式会社 大塚商会	Revit Navisworks Dynamo ACC	Revit Navisworks Dynamo ACC			Revit Navisworks Dynamo ACC	Revit	Revit Dynamo ACC	2023.5更新
Aureole Construction Software Development Inc.	Revit		Revit	Revit Dynamo	Revit Navisworks ACC	Revit	Revit Dynamo ACC	
株式会社和建築設計事務所				Revit		Revit		

● 土木・インフラ：BIM/CIMパートナー

パートナーリンク (土木・BIM/CIM)

- 大塚商会 株式会社大塚商会 特定CADソフトプロモーション課
- 応用技術株式会社 エンジニアリング本部
- NexTerrace 株式会社ネクステラス
- ONESTRUCATION株式会社 技術営業ユニット
- Malme

ソフトウェア	コンサルタティング	トレーニング	連携数値計算ソフト	BIM/CIMモデル作成	オペレータ支援	延長機能・ツール開発	その他
Civil 3D	○	○	○	○	○※条件による	○	-
Revit	○	○	○	○	○※条件による	○	-
Dynamo	○	○	○	○	○※条件による	○	-
InfraWorks	○	○	○	○	○※条件による	○	-
Navisworks	○	○	○	○	○※条件による	○	-
3ds Max	-	-	-	-	-	-	-
ReCap	○	○	○	○	○※条件による	○	-
Docs	○	○	○	○	○※条件による	○	-
API(旧Forge)	○	○	-	○	○※条件による	○	-

もっと製品紹介を詳しく聞きたい！

- アンケートへ希望をご記載

- 個別デモンストレーション
- 機能詳細セミナー



- セミナー案

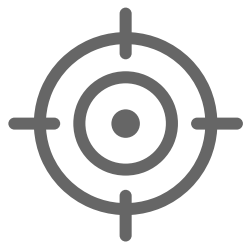
Autodesk Construction Cloud 製品関連

- オートデスク共通データ環境強化！
Docsユーザ特典：Content Catalogのご紹介
- Autodesk BIM Collaborate Design Collaborationモジュール
ワークフローと機能詳細
- Autodesk BIM Collaborate Model Coordination モジュール
ワークフローと機能詳細 等

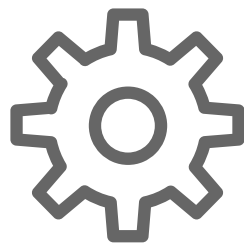


セミナー後のアンケートで是非ご意見をお聞かせください！

BIM Collaborate Pro セミナー



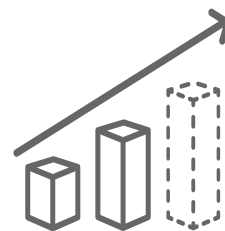
ターゲットとなる
課題/成果そして
必要条件




就業時間の
価値を上げる？



解決方法と
活用シナリオ
BIM Collaborate Pro 概要



次への
アクション
Q&A



Q & A

※別紙QAリストをご確認ください

